

給料6割 勤務条件悪い再任用

再任用説明会で不満の声噴出



7月26日、再任用の説明会が開かれました。年休で参加した再任用を希望する多くの教職員から次々に質問や不満の声が続きました。教職員課の担当者は質問にまともには答えられず、ヤジが飛び出すほどでした。

小学校の夏休みの初日、7月26日、市教委教職員課による再任用説明会が開かれました。この説明会への参加は年休扱いでした。退職後の勤務に大きな影響がある説明会への参加が、年休であることは問題です。また、年休での参加にもかかわらず、開会の挨拶で、教職員課長が「いじめ問題への対応の基本的スタンス等について」の説明をしたことも問題です。出張ではないのですから、職務に係る内容を持ち出すべきではありません。

説明会では教職員課の担当者から、再任用の勤務内容、勤務条件、給料・諸手当と年金等の説明があり、その後、次のようになくさんの質問や要望が出されました。

(本人の希望があれば)退職時の学校に勤務させてほしい。
1年の採用ではなく、継続して採用してほしい。
仕事の内容や量が現職と同じなのに、給料が下がるのは納得できない。給料が下がるならせめて出張等をなくしてほしい。
再任用義務化への対応は、どう考えているのか。
居住地等を配慮して勤務校を決めてほしい。
教職員課以外の課が担当する職種(少人数等支援員・学級等支援員・

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2012.9.7(金)
No.195

初任者指導等)の条件や募集の状況をまとめて説明してほしい。
再任用意向調査票の締切(9月5日)を年度当初人事調書の締切ぐらいに遅くしてほしい。
健康診断で「精密検査」の場合、診断書を出さなければならぬのはおかしい。(説明担当者)が診断書提出の有無を知らず、不満の声がありました。



教職員課からは再任用意向調査票の「その他」の欄に『同一校希望』やその他の希望を書いてほしい、校長にもさまざまな事情を話してほしい、との回答がありました。それ以外の質問については、「課に持ち帰って検討する」「一考する」という回答だけでした。いずれの質問や要望も再任用希望者の切実な声

であり、開会の挨拶で教職員課長が言った「勤務の条件は必ずしもよくないが、みなさんの経験と力を借りたい」ということを実効あるものにするなら、教職員課は質問に誠実に答え、再任用希望者が安心して働けるような条件整備をしっかりと行つべきです。

さいたま市を除く埼玉県小中学校の再任用の状況

	フルタイム	5分の2	5分の3	5分の4	計
小学校	251	42	43	33	369
中学校	168	1	1	11	181
計	419	43	44	44	550

さいたま市の退職者の推移は、2009年度定年退職150人、定年前退職92人、2010年度定年退職160人、定年前退職78人、2011年度定年退職129人、定年前退職96人となっています。少なくとも定

さいたま市の小中学校の再任用の状況

		フルタイム		短時間		計
		教諭	養育教諭	事務職員	栄養職員	
小学校	教諭	49	1			50
	養育教諭	1	2			3
	事務職員	2	2			4
	栄養職員	0	0			0
	計	52	5			57
中学校	教諭	32	10			42
	養育教諭	0	0			0
	栄養職員	3	0			3
	事務職員	0	0			0
	計	35	10			45
小・中計	合計	87	15			102

年退職者は過去3年で439人ですが、再任用者はフルタイムと短時間合わせて102人です。年金の満額支給までまだ数年ある人で再任用をしていない人が337人いると推定です。

今後、2013年度末退職者から年金の支給がゼロの年が生じます。国は再任用の義務化を打ち出すとも言われていますが、フルタイムしか再任用を取らないさいたま市のやり方を変えない限り、定年退職者の生計は保障されないでしょう。早急に再任用制度や市のやり方を見直す必要があります。

教職員課の再回答
9月5日締切は変更できない。面接の日程の関係
教職員課以外の課が所管する市費臨時職員等の職種の案内は現在調整中で、近いうちに情報提供する。
人間ドックや定期健康診断結果の「再検査」「精密検査」は校長が口頭で本人に状態を確認する。検査の数値が高い場合は再提出を依頼する場合があります。この点は9月5日付小・中・高・特別支援学校校長宛文書で通知した。(9月6日確認)